

## ●浅草寺福祉会館個人情報保護方針●

浅草寺福祉会館（以下当館）は、個人情報の保護の重要性を深く認識し、個人情報保護に関する法令等を遵守します。

\* 当館は、個人情報の取得を適法かつ公正な方法で行い、取得した個人情報を法令に定める場合を除き、利用目的の範囲内で使用します。目的外の利用は一切行いません。

\* 当館は、法令に定める場合を除き、個人情報を本人の同意なく第三者へ開示及び提供は行いません。

\* 当館は、保有する個人情報を適切な安全対策の実施により保護し、個人情報への不正な侵入、紛失、破壊、改竄及び漏洩等の防止に努めます。

\* 当館は、保有する個人情報を厳正な管理の下で保管し、目的達成後、必要な保管期限後、安全に廃棄します。

\* 当館は、本人が自己の情報について、開示・訂正・利用停止・削除等を求める権利を有していることを確認し、これらの請求がある場合には速やかに対応します。また、当館の個人情報の取り扱いに関する苦情があった場合は、適切かつ速やかに対応します。

\* 当館は、全ての職員に対し、個人情報の保護及び適正な管理方法等について教育・啓発を行い、日常業務における個人情報の適切な取り扱いを徹底します。

## ●研究情報の公開について(オプトアウト)●

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者等に情報を公開します。

- ・「浅草寺福祉会館における『総合痴呆』の可能性～「困りごと痴呆」における「主訴内容」の分析から」（浅草寺福祉会館年報第47号）
- ・「浅草寺福祉会館における『総合痴呆』の可能性」（浅草寺福祉会館年報第48号）
- ・「民間痴呆機関における『総合痴呆』の特徴 —20年間の痴呆記録の内容分析結果から—」（『ソーシャルワーク学会誌』第48号）
- ・「浅草寺社会事業研究会」
- ・「仏教寺院による福祉活動の公益性の検討 —来談者の主訴の分析からのアプローチ—」 → (別紙) 情報公開文書

2026年 2月 24日  
浅草寺福祉会館

## (情報公開文書)

本研究は、臨床研究のうち、対象者への侵襲や介入がない研究です。国が定めた研究倫理の指針に基づき、研究の目的や内容を公開することで、直接の同意に代える方法をとっています。

研究に参加したくない方は、参加を拒否することができます。参加を希望されない場合には、ご本人または代理の方から下記の連絡先へお知らせください。お申し出があった場合でも、今後の会館利用において不利益を受けることはありません。

研究課題名：「仏教寺院による福祉活動の公益性の検討 ―来談者の主訴の分析からのアプローチ―」

研究目的：浅草寺福祉会館の相談活動が果たす役割と機能、及びその機序について、相談に係るデータを分析することで、  
仏教寺院による福祉活動の公益性を理論的に検証する

研究担当者：大塚明子

研究期間：(大正大学研究倫理委員会承認後) ~2027年3月

対象データ期間：2015年4月1日~2025年3月31日

(個人情報は削除した上、相談記録を数量化・数値化したデータを使用します)

<問い合わせ先> 浅草寺福祉会館 03-3844-5225 (9:00~16:50 月・祝休館)